

# 浦河町立荻伏診療所

■所在地	北海道浦河郡浦河町荻伏町 34 番地の 37		
■設置者	浦河町	■木材使用量	83.0 m <sup>3</sup> うち地域材 83.0 m <sup>3</sup>
■構造	木造2階建	■使用樹種	構造 トドマツ、エゾマツ
■延床面積	414.88m <sup>2</sup>	内装	カラマツ



## ◆施設の概要

本施設は、地域材を活用し、木のぬくもりや美しさを感じられる快適な空間の提供や太陽光発電装置を備えた環境に優しい公共施設として建設しました。

町内産のカラマツの羽目板をふんだんに使用し、地域の木材の良さをPRするとともに、地域材の需要拡大を期待するものです。

## ◆工法等の特徴

本施設は、地震多発地帯にある本町の診療所であるため、主要構造材である柱・梁等に集成材を使用し、特殊金物工法により耐震化を図るとともに、外壁通気工法により結露防止のほか、構造材の耐久性を高めています。

## ◆整備に当たり苦慮したこと

地産地消を推進するため町内産木材を採用しましたが、浦河町内に製材工場が無いと、運搬や加工に係るコストの増嵩が課題となりました。